

平成24年度
教育・研究評価結果報告書

平成25年3月

鳴門教育大学教育・研究評価部会

目 次

教育・研究評価部会委員名簿	1
事項ごとの評価	3
I 教育・研究活動の業績及び質の向上の状況	3
II 学生による授業評価の状況	5
III ファカルティ・ディベロプメント推進事業の状況	6
評価の根拠となる資料・データ	9

平成24年度 教育・研究評価部会委員

規則の根拠	委 員		備 考
	職 名	氏 名	
2-(1)	理 事	西 園 芳 信	教育・研究担当
2-(2)	理 事	山 下 一 夫	企画・社会連携担当
2-(3)	副 学 長	梅 津 正 美	評価・外部資金担当
2-(4)	基礎・臨床系教育部 教 授	村 川 雅 弘	
2-(4)	人文・社会系教育部 教 授	前 田 一 平	
2-(4)	自然・生活系教育部 教 授	成 川 公 昭	
2-(4)	芸術・健康系教育部 教 授	松 岡 貴 史	
2-(5)	徳島県教育委員会 教 育 次 長	高 橋 博 義	
2-(5)	徳島県立総合教育 セ ン タ ー 所 長	近 藤 辰 夫	
2-(5)	徳島市教育委員会 教 育 次 長	石 井 博	
2-(6)	徳島文理大学 人 間 生 活 学 部 教 授	三 橋 謙 一 郎	
2-(6)	京都産業大学 文 化 学 部 教 授	角 田 豊	

教育・研究評価部会設置要項 (組織)

第2 部会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 理事(教育・研究担当)
- (2) 理事(企画・社会連携担当)
- (3) 副学長(評価・外部資金担当)
- (4) 各教育部に属する教授のうちから各1名
- (5) 鳴門教育大学教員養成等推進会議の外部委員のうちから学長が指名する者 若干人
- (6) 学長が指名する外部有識者 若干人

事項ごとの評価

I 教育・研究活動の業績及び質の向上の状況

1. 全体の状況及び特徴

(教育)

鳴門教育大学は、高度専門職業人としての教員を養成することを目的とする大学として、教育活動について特記すべき点は、以下の4点である。

第1に、学士課程の教員養成教育の改善計画が明確に定められ、計画に沿った首尾一貫した改革のためのアクションが取られていることである。大学の理念・目的と学部目標をふまえて、教員養成大学としての教育方針を「アドミッション・ポリシー」「カリキュラム・ポリシー」「ディプロマ・ポリシー」として策定し、「教員としての資質・能力に関する到達目標の設定」－「コア・カリキュラムの編成」－「先導的な教育内容・方法の開発」－「学修及び授業・カリキュラムの評価法の開発」に一貫して取り組んでいる。(資料I-1)

第2に、学士課程と修士課程を一貫させたコア・カリキュラムを編成していることである。学士課程のカリキュラムは、教科授業力を中核とする教育実践力を育成する目的から、コア領域に「教育実践学」を置き、それと教養基礎科目、教職共通科目、教科専門科目との構造化を図っている。修士課程のカリキュラムでは、コア科目として、①今日の教育課題を各教科・領域教育の観点から捉え、その本質と解決の視座を学ぶ「広領域コア科目」と、学校現場と連携し教育課題に対し実践を通して解決の道筋を示していく「教育実践フィールド研究」の2領域から成る応用実践科目を設定し、それと教職共通科目、専門科目、課題研究とを結びつけ構造化している。専門職学位課程(教職大学院)においては、学校や地域で問題解決力や指導力を発揮できる教員と、実践的対応力に優れた新人教員を養成するため、現職教員や教育委員会のニーズを踏まえ、キャリアに応じて学校教育の諸課題について総合的・横断的に学べるようにカリキュラムを編成している。そうしたカリキュラムの実践において、研究者教員と実務家教員が連携協力して教育を行っていることは、特に注目される(資料I-2-1, 2, 3)。

第3に、学生に対する5段階の評定において高い成績分布を示していることである。成績評価基準については、S(100点～90点)、A(89点～80点)、B(79点～70点)、C(69点～60点)、及びD(59点以下)の5段階で評定のうえ、学部では、S及びAの割合が、「教養基礎科目」で59%、「教育実践コア科目」で77%、「教職共通科目」で62%、「専修専門科目」で63%となっている。修士課程では、S及びAの割合が、「教職共通科目」66%、「領域等内容科目」で86%、「領域等方法科目」で91%、「広領域コア科目」で86%、「教育実践フィールド研究」で96%となっている。専門職学位課程では、S及びAの割合が、「共通

科目」で98%、「専門科目」で99%、「実習科目」で100%となっている。(資料 I - 3)

第4に、学生の学修及び教員就職に対する充実した支援体制をとっていることである。教員採用試験に向けた体系的で実践的な支援事業を組織し、平成23年度学部卒業生について教員就職率80.0%、進学者等を除くと88.0%という実績を上げている(資料 I - 4 - 1)。また、大学院修士課程において、出身大学等で教職課程を履修していない学生が、長期履修制度を利用して修士の学位取得と教員免許状の取得をめざす「学校教員養成プログラム」の受講者を支援するため、長期履修学生支援アドバイザーを増員するなど、きめ細かな就業支援を行っている。(資料 I - 4 - 2)

(研究)

研究活動について特記すべき点は、以下の4点である。

第1に、教員養成大学の目的をふまえて、「教養教育・教育科学」、「教科・領域教育」、「教科専門」の各研究分野においてバランスよく研究が行われていることである。平成23年度の研究活動の状況を総数で示すと、著書・訳書48編、論文98編、プロシーディング5編(第4回日中教師教育学術研究集会)、紀要等論文109編、作品・演奏47件、学会発表364件、研修会講演・発表35件となっている(資料 I - 5)。

第2に、学校現場の課題に応じた先端的教育実践研究を推進していることである。予防教育については、予防教育科学センターと附属小・中学校及び鳴門市の小・中学校が連携して、いじめ問題や心身の健康悪化への対応など予防教育に関する実践的研究を進め、その成果を踏まえた教育実践を徳島市や鳴門市の学校で展開している(資料 I - 6 - 1)。また、小学校外国語活動に関わって、小学校英語教育センターでは、出張型研修、集合型研修及びシンポジウムを開催し、小学校外国語活動における支援を行っている(資料 I - 6 - 2)。

第3に、学長裁量経費に係る「教育・研究プロジェクト」として9件が採択されているが、いずれも今日的な学校教育の課題や地域連携、あるいは社会全体の取組課題としてのエネルギー問題に関する先導的なプロジェクト研究が推進されている(資料 I - 7)。

第4に、本学には各教員の専門分野を活かした地域貢献の活動として「教育支援講師・アドバイザー制度」が設けられているが、事業実績を見ると、平成21年度の115件、平成22年度の159件に対して、平成23年度には200件と大幅に伸びている。(資料 I - 8)

2. 評価結果と改善あるいは質の向上に向けての提言・要望

鳴門教育大学の目的・使命に照らして、教育・研究活動及びそれらをふまえた地域貢献が、「順調」に展開していると判断する。

改善あるいは質の向上に向けての提言・要望として、以下の7点を指摘する。

- ①学校現場では、兼任で業務を担当することが多い。学士課程のコア科目は、教科授業力を育成することをめざしているが、専門教科を持ちながらも、オールラウンドな教科の指導力を育成することも考慮することが重要である。
- ②座学だけでなく、学習方法としてアクティブラーニングを積極的に取り入れ、学校現場における諸課題に対して、自ら考え能動的に行動できる力量を育成しなければならない。
- ③教員養成大学で培った力量が、学校現場で活かされない、あるいは通用しないことから悩みを深める新人・若手教員が多い。学校現場への聞き取り調査やアンケート調査等を活用して、現場が直面している課題をつかみ、それらの課題解決に実際に取り組んでいくような、アクション・リサーチ、あるいはケース・メソッドを基盤にした授業を、学部低学年のころからカリキュラムに積極的に組み込んでいくことを工夫していただきたい。そうした授業とうまく接続するように学部4年次の「教職実践演習」の内容や方法を構想していくとよい。
- ④成績評価において、高い割合でS又はAの評価が与えられているが、成績評価及び単位認定の実質化が図られているかを不断に点検する必要がある。授業科目における作業課題の設定、一年間の修得単位のキャップ制、学期末試験実施の現況把握等の検証を適宜行って行くべきである。
- ⑤教員就職のための支援事業を、既卒者、特に徳島県内で臨時講師等で頑張っている卒業生に拡大していく方途を探してほしい。
- ⑥予防教育や小学校英語教育に関する本学の先導的研究については、教育委員会や学校においても注目されている。それだけに、大学側からのプランやモデル実践の提案に止まることなく、本学の専門家の立ち会いや助言がなくても、各学校の教員が自分たちだけで実践できるところまで力量を高めていける研修プランを積極的に提案していただきたい。また、過密なカリキュラムの学校現場においても取り入れてもらえるようなコンパクトな教育内容を提示していくことが課題となる。
- ⑦大学における教員の研究に割く時間を十分確保できるよう、教員が担う事務の内容や量を精査し、効率化や簡略化を図っていく必要がある。

II 学生による授業評価の状況

1. 全体の状況及び特徴

平成23年度に実施された学生による授業評価アンケートは、授業科目総数402、有効回答数9,700である。平成21年度から質問項目の「3 あなたの授業への取り組みについて」は、受講者の取り組みに対する評価であるため総合評価から外して集計することとなっている。

教養基礎科目に対する授業評価の実施授業科目数は39科目、有効回答人数は998名であり、評価の総合平均値は、「4.2」である。教育実践コア科目に対する授業評価

の実施授業科目数は43科目、有効回答人数は411名であり、評価の総合平均値は、「4.4」である。教職共通科目に対する授業評価の実施授業科目数は74科目、有効回答人数は3,847名であり、評価の総合平均値は、「4.2」である。専修専門科目に対する授業評価の実施授業科目数は246科目、有効回答人数は4,444名であり、評価の総合平均値は、「4.3」である。

質問項目の「3 あなたの授業への取り組みについて」には小項目が6つ用意されているが、それらの評価の平均値は、教養基礎科目が「4.0」、教育実践コア科目が「4.2」、教職共通科目が「4.0」、専修専門科目が「4.1」である。小項目の「授業内容をよく理解するために予習や復習（または、準備やまとめ）をした」に対する総合平均値は、「3.8」であり、同じく小項目の「分からないことや、疑問に思ったことは調べた」に対する総合平均値は、「3.8」である。これら小項目に対する学生の自己評価が相対的に低くなっている。（資料Ⅱ－1）

2. 評価結果と改善あるいは質の向上に向けての提言・要望

平成23年度学生による授業評価アンケートの結果から、鳴門教育大学では、大学の目的・使命と学生のニーズをふまえた教育が、「順調」に展開していると判断する。

改善あるいは質の向上に向けての提言・要望として、以下のことを指摘する。

学生の主体的な学習への取組や学習意欲という点では、まだまだ課題がある。授業者には、シラバスに書き込んだ「到達目標」が実際に学生に達成されたのかを確実に見取るために、到達目標と結んで知識・能力・技能を実際に活用することを迫る「作業課題」を準備し、授業実践に適切に組み込んでいくような、「学生を学習に向けていく工夫」が求められる。

Ⅲ ファカルティ・ディベロップメント推進事業の状況

1. 全体の状況及び特徴

学生による授業評価アンケートの結果から、学生の授業における自主性や思考の喚起に課題が見出されたので、平成23年度のファカルティ・ディベロップメント（FD）推進事業における特別公開授業と事後の授業研究会及びFDワークショップにおいて『よい教師を育てる授業とは』という統一テーマを掲げ、平成23年度は、①学生の自主性を育む授業とは、②学生の思考を促す授業とは、を研究課題に教員間で討議し、その内容を「ファカルティ・ディベロップメント推進事業実施報告書」にまとめ公表している。（資料Ⅲ－1）

2. 評価結果と改善あるいは質の向上に向けての提言・要望

鳴門教育大学では、FD 推進事業において、教員養成教育をめぐる実践的課題を見出し、その解決のための方策を教員間で具体的に討議しており、FD 推進事業が、「順調」に展開していると判断する。

改善あるいは質の向上に向けての提言・要望として、以下の2点を指摘する。

- ①学部及び大学院修士課程と専門職学位課程とが、それぞれ独自にFDを行っているが、全学の教員が教育課題を共有する意味で、協働してFDを実施する機会を設けるべきではないか。
- ②学校現場の課題は、生徒指導、学級経営、特別支援など多岐に渡って存在する。学校現場のリアルな課題の解決力を学生に育成するためには、大学教員のFDにおいても、こうした課題対応力を大学の授業でどう育成するか、といったテーマでの研修も必要となるのではないか。

評価の根拠となる資料・データ

鳴門教育大学における教員養成教育(学士課程)の改善・改革計画

平成23年度における実績

鳴門教育大学の理念・目的
 「21世紀に生きる人間として豊かな教養を培い、地球的視野に立って総合的に判断できる力量の形成に努めるとともに、教育者として子どもに対する愛情と教育に対する使命感を醸成し、教育に関する専門的知識を深め教育実践力を身につけることによって、専門職としての教員を育成することを旨とする。」

学部目標
 「教員として必要な基礎的な資質や能力を養うとともに、広い視野に立って教育活動を行い、地域の教育課題に応え、教育の改善に役立てることのできる教員の養成を行う。」



教員養成大学としての教育方針の明確化
アドミッション・ポリシー(13年度策定, 22年度一部改正)
カリキュラム・ポリシー(22年度)
ディプロマ・ポリシー



学生の学修への支援体制の整備

課外活動や就職支援・経済的支援等

教員としての資質能力に関する到達目標の明確化
教員の資質能力に関する「鳴門スタンダード」(18年度)



教員養成教育のためのカリキュラム開発															
「教育実践学」を中核としたコア・カリキュラム(17年4月実施)															
<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">教養科目</td> <td style="text-align: center;">教職科目</td> <td style="text-align: center;"> 教育実践学 <small>○教育実習科目 ○教育実践コア科目</small> </td> <td style="text-align: center;">教科教育科目</td> <td style="text-align: center;">教科専門科目</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">→</td> <td></td> <td style="text-align: center;">←</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">←</td> <td></td> <td style="text-align: center;">→</td> <td></td> </tr> </table>	教養科目	教職科目	教育実践学 <small>○教育実習科目 ○教育実践コア科目</small>	教科教育科目	教科専門科目		→		←			←		→	
教養科目	教職科目	教育実践学 <small>○教育実習科目 ○教育実践コア科目</small>	教科教育科目	教科専門科目											
	→		←												
	←		→												

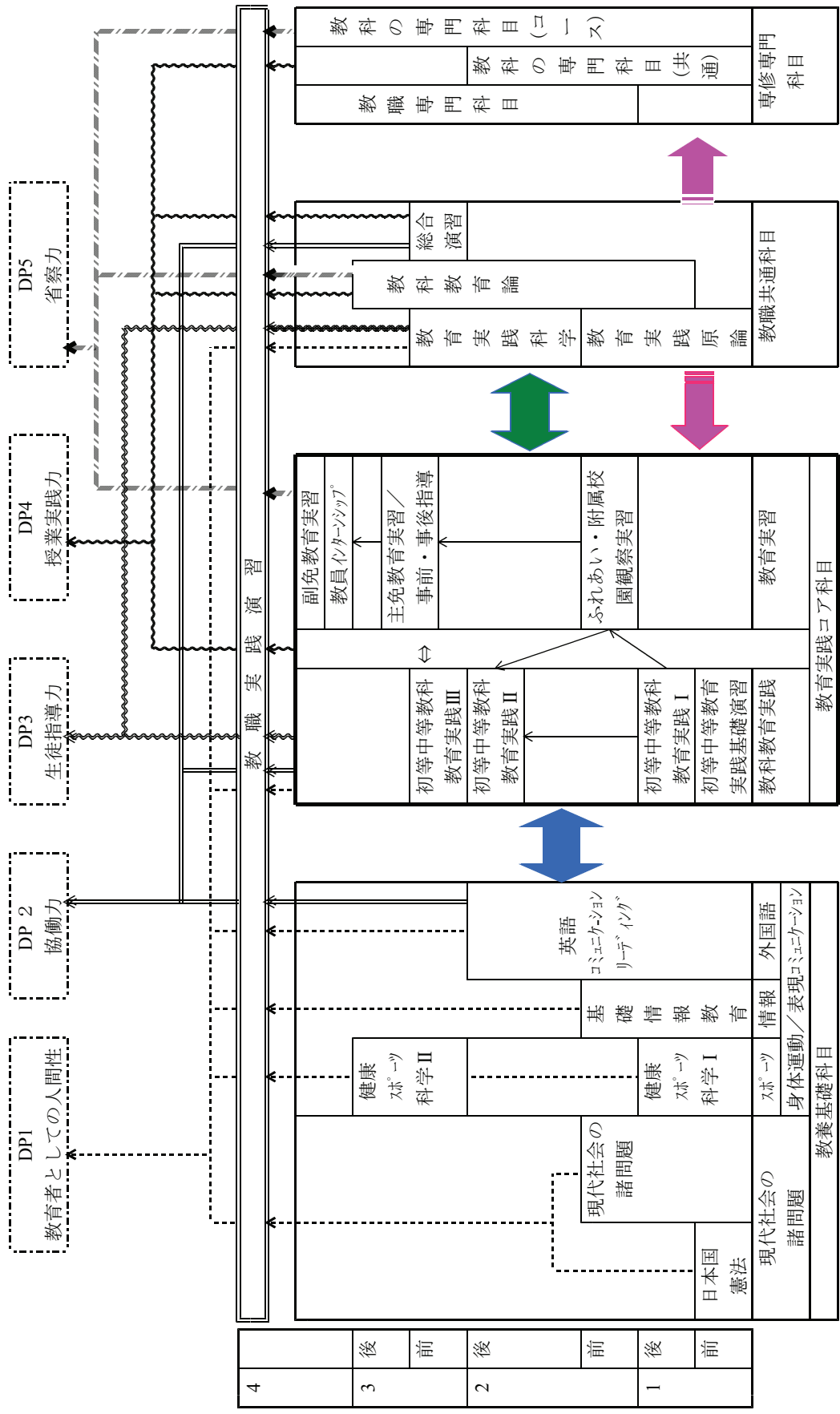


教員養成教育の内容・方法の構造化と先導的教育研究の開発				
カリキュラムマップの作成	教員養成教育のガイドラインの作成	教科専門科目の内容・方法の体系化(教科内容学研究)	教育実習への参加要件に関する評価基準と教育実習プログラム開発	学校現場のニーズに応じた先導的教育研究開発(予防教育科学・小学校外国語活動等に関する実践的研究)

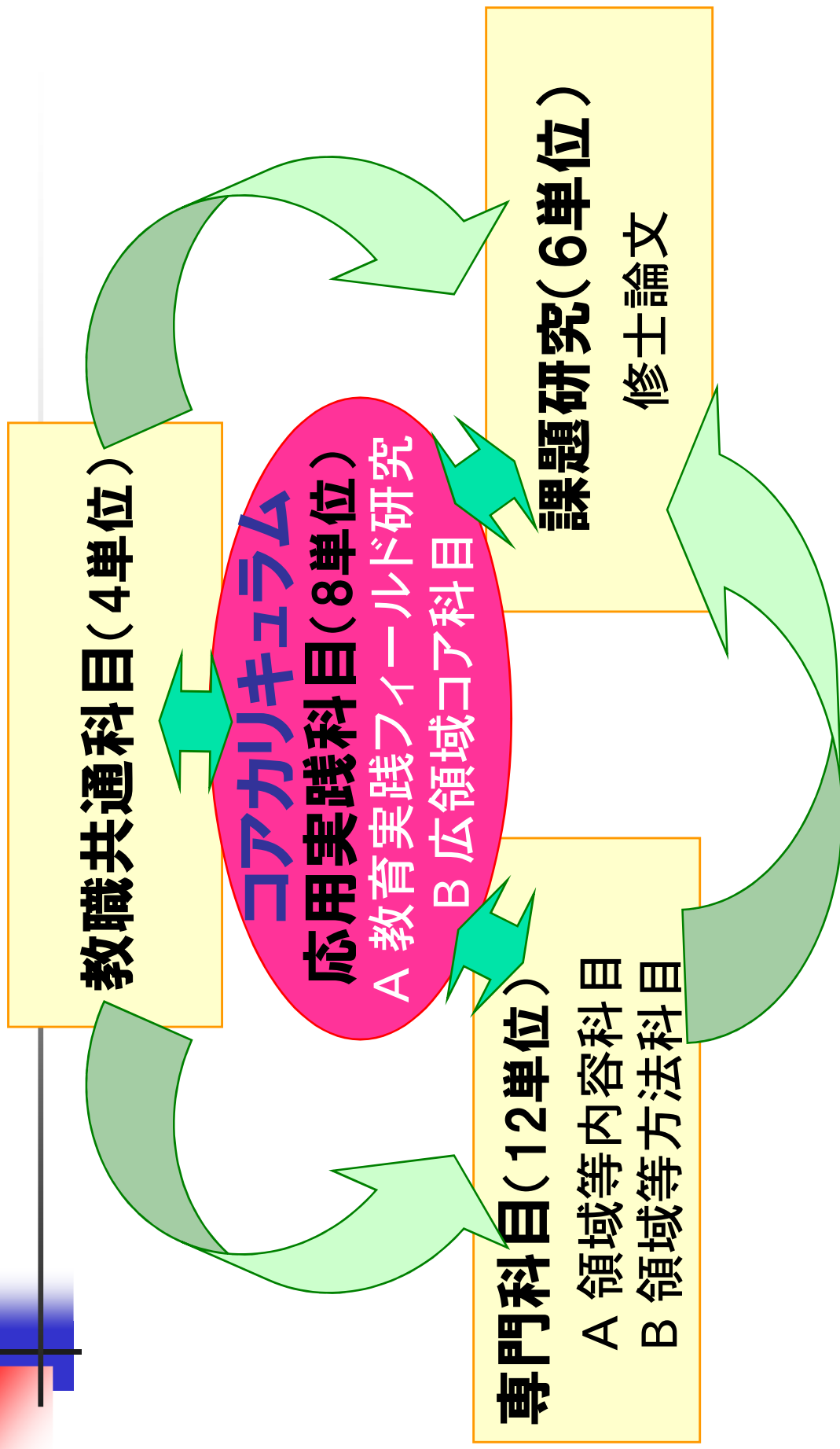


教員養成教育の評価の基準と方法の明確化				
「教職実践演習」開講への手立て			学修成果の評価基準	カリキュラムの適格判定基準
教員としての資質能力チェックリスト(21年度)	教育実践力形成のためのポートフォリオ(学修キャリアノート)(21年度)	「教職実践演習」シラバス		

カリキュラム・マップ「専門教育学士課程コア・カリキュラムの全体構造」

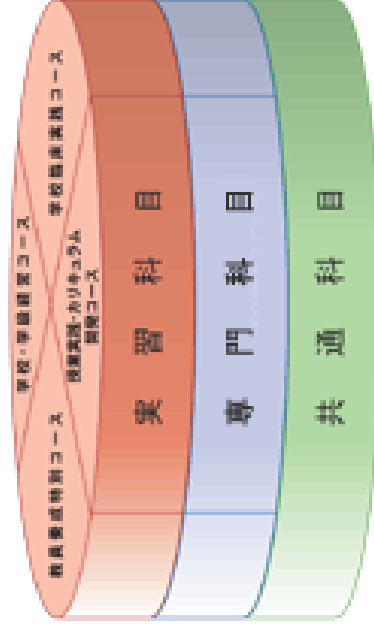


鳴門教育大学院 学校教育研究科(修士課程)の新教育課程



三層構造の重厚なカリキュラム

教職大学院の教育課程の構造



鳴門教育大学の教職大学院では、学校教育が直面している諸課題の構造的・総合的な理解にたって幅広く指導性を発揮できる教員の養成を目指した教育課程を編成しています。

全ての学生が履修する「共通科目」、各コース・領域群ごとに設定する「専門科目」、連携協力校等で行う「実習科目」から構成しています。

平成23年度各授業科目区分の成績評価(%)

		評 定					
		S	A	B	C	D	認定
学部	教養基礎科目	24	35	25	10	7	0
	教育実践コア科目	34	43	15	6	2	0
	教職共通科目	21	41	25	9	4	0
	専修専門科目	29	34	19	11	7	0
	自由選択科目	24	37	22	10	7	0
大学院 (修士課程)	教職共通科目	36	30	22	6	6	1
	領域等内容科目	44	42	8	1	5	0
	領域等方法科目	50	41	4	1	3	0
	広領域コア科目	52	34	6	3	5	0
	教育実践フィールド研究	71	24	1	0	3	0
	課題研究	75	22	1	0	1	0
大学院 (専門職学位課程)	共通科目	74	24	1	0	0	0
	専門科目	87	12	0	0	0	0
	実習科目	78	22	0	0	0	0

成績評価(学部)

成績評価は、担当教員が定期試験の結果及び受講状況等を総合して行います。

評価	評価基準	合格	摘要
S	100点～90点	合格	基本的な目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている。
A	89点～80点	合格	基本的な目標を十分に達成している。
B	79点～70点	合格	基本的な目標を達成している。
C	69点～60点	合格	基本的な目標を最低限度達成している。
D	59点以下	不合格	基本的な目標を達成していないので、不合格とし単位を与えない。

(注)再試験の結果合格した場合の評価は、「C」(60点)とする。

成績評価(大学院)

成績評価は、担当教員が定期試験の結果及び受講状況等を総合して行います。

評価	評価基準	合格	摘要
S	100点～90点	合格	基本的な目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている。
A	89点～80点	合格	基本的な目標を十分に達成している。
B	79点～70点	合格	基本的な目標を達成している。
C	69点～60点	合格	基本的な目標を最低限度達成している。
D	59点以下	不合格	基本的な目標を達成していないので、不合格とし単位を与えない。

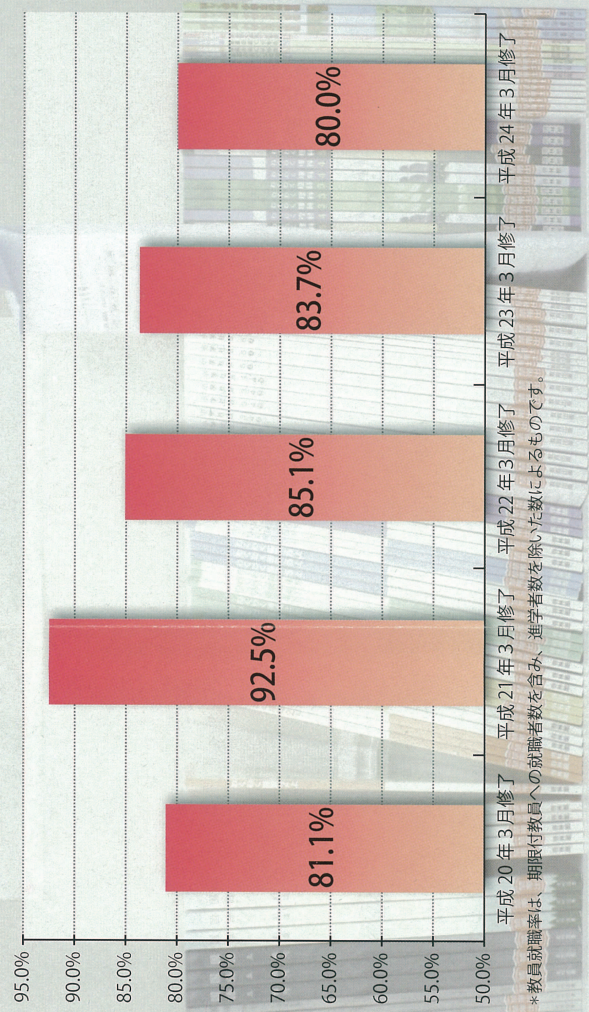
学校教育学部卒業者の進路状況

(平成24年9月30日現在)

区分	卒業者数	教員					職者			保育士	進学者	その他	教員就職率		順位
		小学校	中学校	高等学校	幼稚園	特別支援学校(盲・聾・養護学校)	小計	進学者を除く	保育士進学者を除く						
平成24年3月卒業	110	54(16)	28(16)	0	4(2)	2(1)	88(35)	3	4	10	5	80.0%	88.0%	90.72%	1

- 注① この状況報告は、平成24年3月卒業者を対象としている。
 ② ()内の数は、期限付教員を内数で示す。教員・保育士以外の就職者には臨時採用者を含む。
 ③ 保育士は、保育所及び認定子ども園への就職者である。

学校教員養成プログラム修了者の教員就職率



プログラム受講入学者数の推移

年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
入学者数	43	73	55	47	51	79	110	104	85

- 長期履修学生支援センターの講座等
 - 教採問題で悩めし
 - 基礎講座文系編・理系編
 - 学校現場の状況について
 - 学校問題解決の方策及び保護者への対応
 - 教師のためのマナーエチケット
 - 教育法規
 - 模擬授業
 - 学習指導案作成演習
- プログラム受講学生の声
 - 1年目は免許のための単位修得に集中できるので、修了や修論の心配をしなくてよい。
 - 学部生や他の大学の大学から来た学生から刺激を受けながら勉強できる。
 - このプログラムのおかげで教員を目指そうと思えた。
 - ていねいに指導していただいたよかったです。
 - 親身になって進路相談に乗ってくれた。悩んでいたので助かった。

- ### 他大学学士課程
- 文学部
 - 外国語学部
 - 経済学部
 - 法学部
 - 経営学部
 - 理学部
 - 工学部
 - 農学部
 - 医学部
 - 音楽学部
 - 芸術学部
 - 体育学部 等

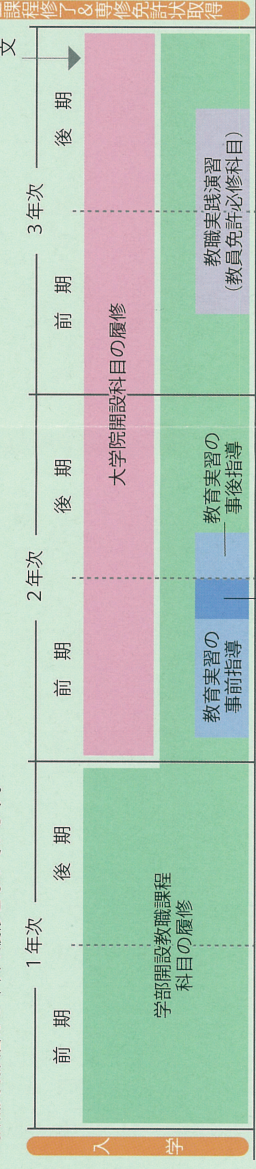
多様な出身学部から

長期履修学生3年間の標準履修モデル

※1年次は学部の授業科目しか履修できません（履修登録の上限は、前期・後期それぞれ26単位まで、1年間で52単位まで）。

※2年次、3年次は学部授業科目と大学院開設科目を履修します（学部授業科目の履修登録の上限は、1年間で26単位まで）。

※教職実践演習は3年次の履修となっています。



長期履修学生支援センターの支援体制

- センター職員
 - 第1年次の間、長期履修学生にはセンター職員がセンター担任となり、プログラム受講生を指導。
 - センター所長 佐藤 勝幸 教授 (自然系コース (理科))
 - センター兼務教員 速水多佳子 准教授 (生活・健康系コース (家庭))
 - チーフアドバイザー 榎 博 (元公立小校長・元県教委管理主事・元徳島市教委教育次長)
 - アドバイザー
 - 阿部美佐子 (元附属中校長・元県教委指導主事)
 - 加藤登美子 (元公立小校長・元県教委指導主事)
 - 楠井 一弘 (元公立小校長)
 - 寺田 裕 (元公立小校長・元県教委管理主事)
 - 橋本 雅公 (元公立小校長・元板野町教育長)

- センター会議各教職部委員
 - 田村 隆宏 教授 (基礎・臨床系教育部)
 - 山本 進 教授 (人文・社会系教育部)
 - 菊地 章 教授 (自然・生活系教育部)
 - 山木 朝彦 教授 (芸術・健康系教育部)
- スタッフ紹介はこちらのサイト
<http://www.naruto-u.ac.jp/center/kco/003.html>

研究活動の実施状況(平成23年度)

	教養教育・ 教育科学	教科・ 領域科学	教科専門	計
著書(単著)	1	1	0	2
著書(共著・分担)	22	8	15	45
著書(翻訳[単訳])	0	0	0	0
著書(翻訳[共訳])	0	1	0	1
論文(単著)	12	10	9	31
論文(共著)	14	20	33	67
プロシーディング(単著)	1	3	0	4
プロシーディング(共著)	1	0	0	1
紀要等(単著)	14	9	13	36
紀要等(共著)	35	23	15	73
その他(単著)	36	20	12	68
その他(共著)	4	15	11	30
作品・演奏・競技(国際的・全国レベル)	1	0	12	13
作品・演奏・競技(国際的・全国レベル以外[委嘱を受けたもの])	0	0	22	22
作品・演奏・競技(国際的・全国レベル以外[委嘱を受けたもの以外])	0	0	12	12
国際学会(シンポジウム、招待講演)	5	5	3	13
国際学会(発表)	6	6	10	22
国際学会(連名)	7	10	14	31
国内学会(全国)(シンポジウム、招待講演)	11	2	13	26
国内学会(全国)(発表)	23	25	26	74
国内学会(全国)(連名)	30	45	48	123
国内学会(中・四国、関東等のブロック)(シンポジウム、招待講演)	3	0	5	8
国内学会(中・四国、関東等のブロック)(発表・連名)	5	37	25	67
教育関連研修会(全国レベル)	3	0	0	3
教育関連研修会(県・中・四国・関東等ブロックレベル)	32	0	0	32
教育関連研修会(発表・連名)	0	0	0	0

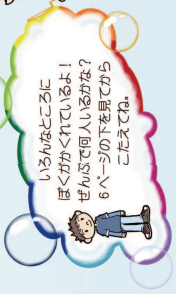
平成23年度研究紀要等と収録論文数

紀要名	巻	論文数
鳴門教育大学研究紀要	27	34
鳴門教育大学学校教育研究紀要	25	12
鳴門教育大学授業実践研究	10	13
鳴門教育大学情報教育ジャーナル	9	6
鳴門教育大学小学校英語教育センター紀要	2	5
中日教師教育学術研究集会プロシーディング	2011	25
鳴門教育大学学校教育学部附属幼稚園研究紀要	45	5
鳴門教育大学学校教育学部附属小学校研究紀要	53	12
鳴門教育大学附属中学校研究紀要	2011.6.3	10
鳴門教育大学附属特別支援学校研究紀要	41	3



鳴門教育大学 予防教育科学 教育研究センター

子どもたちの笑顔に満ちた未来のために！
— 健康・適応から学業まで —



お問い合わせ先

〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748

鳴門教育大学 予防教育科学 教育研究センター

TEL: 088-687-6612

FAX: 088-687-6604

MAIL: prevent-ctr@naruto-u.ac.jp

URL: <http://www.naruto-u.ac.jp/center/prevention/>

センター所長 挨拶

子どもたちの笑顔に満ちた

未来のために！

一健康・適応から学業まで一

私たちに、何ができるのだろう。

大人社会の縮図と化した子どもたちの日常。

いじめや暴力、うつ病や肥満、近年の子どもたちの健康や適応上の問題は深刻です。学校では、このような問題に陥らないようにする、予防の教育がまったく手薄な状況です。

この現状を打開するためにできたのが、このセンター。

センターでは、世界中の研究者との共同のもと、着々と教育が開発・実践されています。

この教育は、学業面も伸ばすことが期待されます。

子どもたちは、この教育による授業をほんとうに楽しみにしています！

『子どもたちの笑顔に満ちた未来のために！』一 いっしょに学び、実践しませんか。

千年の時をへて、なお真実となる教育へ。 予防教育科学 教育研究センター

所長 山崎 勝之



海外での交流

海外視察、ミーティング



国際学会、シンポジウム



最初はこちらから。海外での活動をとっても重視しているんだ。

海外の先進的な予防教育を視察し、これからの予防教育について、討議・情報交換をしています。



センターの教育研究活動を世界の研究者・教育者を知っていただくため、学会での活動を積極的に行っています。



国際専門家会議

世界の予防教育について活発な意見交換を行っています。



国内での交流

研修会

本センターの役割と連携、トップ・セルフについての講義があります。また、教育を体験し、実感する実習を行っています。



ウォンハット

学会活動



くらのすけ

多くの参加者のもと活発な討論がなされ、今後のセンターの予防教育のあり方について熱く議論しています。

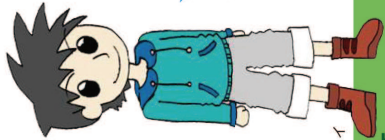


エリチン

徹子さん



最後はこちら。国内でもこんな活動を
行っているんだ。



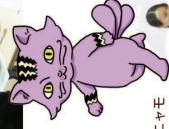
ジェイ

国内専門家会議

フォーリ



実際の教育プログラムを体験していただきます。研究者をはじめ、現場の先生方にもご参加いただき、予防教育の問題点について議論しています。



ニヤモ

大学・大学院の授業

授業では、教員と学生の意見交流を大切にしています。毎回90分、教員と学生との真剣勝負です。実習も盛りだくさん!



TOP SELFのなかまたちを探せ!

それぞれ何人いたかな?



どうぶつのなかま・みんなで見つけたかな?



うちゅうから来たなかまやロボットのなかま
-みんなで見つけたかな?



問題は、ひだりの四角の中にあるよ。
このハンフレットの全てを見てね。
たとえばセンターのHPにあるよ!

ほくも教に入れてね。
写真の中も
探してみよう!

セルファイ

トップル

小学校英語教育センター

カリキュラム開発

小学校・中学校を見通した
カリキュラム開発の支援

研修・支援プログラム

小学校・中学校での教員研修
プログラムの作成支援及び実施支援

小学校英語教育に関する 研究と実践のサポート

e-learningを利用した遠隔サポートも

教員研修

英語運用能力向上
英語教育に関する
基礎理論と授業実践力育成

研究

海外の小学校英語教育の現状調査
指導法に関する研究
カリキュラム、評価に関する研究
教材開発
研究紀要の発行（毎年）等

教育支援・交流

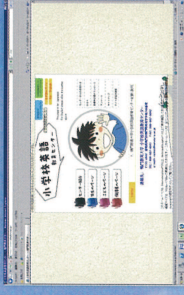
小学校英語教育に関する窓口開設
(web、電話)

県内・県外小学校への助言指導
国内・海外研究機関との交流・情報交換
小学校英語教育ネットワークの構築
附属学校（園）授業支援
教材等の貸し出し

オンデマンドのサポートと 最新情報の提供のために

小学校英語教育について・・・

- 自信がない
- これで良いのかわからない
- 小学校のことがわからない
- 英語力に自信がない



HPトップ画面：新着ニュースなどお伝えします。

教員研修

出張型研修（通称：お遍路型研修）（別紙案内もご覧ください）

各学校や地域におうかがいして、授業授業やワークショップなどを行う研修です。受講者の方々のニーズに合わせた研修内容を提供します。校内研修の講師としてもご利用ください。

集合型研修

専門教育大学や大学関連施設を利用しての、参加者に集まっていたらいいの研修会です。講師は、本学教員スタッフや小学校英語実践者などで、「小学校英語に関する理論的講話」や「指導力向上のためのワークショップ」[英語力向上のための講座]などを実施します。

海外研修

英語コミュニケーション能力をのばすと共に、英語圏の生活・文化を直接体験することが出来ます。

シンポジウムの開催

毎年、小学校英語だけでなく英語教育全般にわたる最新情報を、最先端のシンポジウムを招待し実施しています。国内だけでなく、海外の研究・実践機関（これまでに、フィリピン、韓国、台湾、中国などからの講師を招聘）との協力で行っています。



ワークショップの様子

こうした活動の受講料は基本的に無料（海外研修を除く）で行っておりますので、お申し込みはお早めをお願いします。研修の詳細な内容、申し込み方法は、ホームページをご覧ください。
(<http://ceees.naruto-u.ac.jp/>)

教育支援・交流

電話やメールにて相談をお受けします。本紙裏表紙の連絡先をご覧ください。
また所蔵教材の検索サイトでは、センター所蔵の教材本が検索出来ます。ご利用ください。



所蔵教材の検索サイト

研究

「小学校英語教育センター紀要」を毎年発行しています。
pdf版は、下記サイトより閲覧が可能です。
(<http://ceees.naruto-u.ac.jp/>)



平成23年度 鳴門教育大学教育・研究支援プロジェクト

【趣旨・目的】教育組織の枠にとらわれることなく組織を越えた新規(連携)事業(プロジェクト)創出のために当該組織(チーム)に予算措置。本学における個性・特色のある優れた取り組みを支援する。

【申請】14件

【採択】9件

所属コース等	代表者	プロジェクト名
特別支援教育専攻	津田 芳見	多機関連携による発達障害支援研究
学校・学級経営コース	佐古 秀一	教育委員会・学校と連携した教育改善に関する実践的研究－鈴鹿市教育委員会との協働的關係による包括的な学校支援の展開－
学校・学級経営コース	阪根 健二	防災を考える教員を育成する
言語系コース(英語)	前田 一平	全学対象一般英語カリキュラム改善に向けた基礎的研究
社会系コース	大石 雅章	遍路文化を活かした教師力育成
国際教育コース	近森 憲助	海外教員指導者を対象とした研修の計画・実施・評価・フォローアップに関する研究－ケニア初等理科教員指導者に関する事例－
自然系コース(理科)	早藤 幸隆	教員養成のための粒子・エネルギー教育に関する科学実験教材の開発と附属小中連携モデルカリキュラムの実践的展開に関する研究
生活・健康系コース(技・工・情)	宮下 晃一	堀越海峡における潮力を利用した発電の可能性調査
生活・健康系コース(技・工・情)	曾根 直人	消費電力、室温の計測、可視化およびクラウド利用による省エネルギーへの取り組み

平成23年度 教育支援講師・アドバイザー等派遣事業実績表

	氏名	所属 (専攻・コース)	内容	派遣日	派遣先
1	久我 直人	学校・学級経営コース	その他(10年経験者に求められる『協働力』)	平成23年4月5日	県立総合教育センター(板野町)
2	皆川 直凡	人間形成コース	児童期の心の発達と教育	平成23年4月16日	附属小学校(徳島市)
3	栗飯原 良造	臨床心理士養成コース	4, 5歳児の発達の捉え方について	平成23年4月18日	堀江北幼稚園(依頼先: 鳴門市)
4	栗飯原 良造	臨床心理士養成コース	4, 5歳児の発達の捉え方について	平成23年4月18日	黒崎幼稚園(依頼先: 鳴門市)
5	大谷 博俊	特別支援教育専攻	障害児理解と移行支援	平成23年4月21日	徳島県立障害者交流プラザ (依頼先: 阿南支援学校)
6	栗飯原 良造	臨床心理士養成コース	4, 5歳児の発達の捉え方について	平成23年4月22日	里浦幼稚園(依頼先: 鳴門市)
7	阪根 健二	学校・学級経営コース	NIE実践に対する指導助言	平成23年4月25日	穴吹中学校(美馬市)
8	香西 武	自然系コース(理科)	理科教育ガイダンス	平成23年4月27日	香美市立片地小学校(高知県)
9	藤原 伸彦	教員養成特別コース	ICT機器を活用した表現・コミュニケーションスキルや思考力の育成	平成23年5月12日	喜来小学校(美馬市)
10	藤原 伸彦	教員養成特別コース	ICT機器を活用した表現・コミュニケーションスキルや思考力の育成	平成23年5月13日	喜来小学校(美馬市)
11	中津 郁子	臨床心理士養成コース	幼児期の子育てについて	平成23年5月13日	新開幼稚園(小松島市)
12	前田 洋一	授業実践・カリキュラム開発コース	学校の活性化とミドルリーダーの役割について	平成23年5月16日	沖洲小学校(徳島市)
13	久我 直人	学校・学級経営コース	学級経営の実践と改善のポイント	平成23年5月19日	高志小学校(上板町)
14	皆川 直凡	人間形成コース	児童期の心の発達と教育	平成23年5月21日	附属小学校(徳島市)
15	大谷 博俊	特別支援教育専攻	障害児理解と移行支援	平成23年5月23日	盲学校(徳島市)
16	余郷 裕次	言語系コース(国語)	絵本の読み聞かせの教育的効果	平成23年5月24日	鴨島第一中学校(鴨島町)
17	阪根 健二	学校・学級経営コース	新聞取材に対する指導助言	平成23年5月30日	穴吹中学校(美馬市)
18	高原 光恵	特別支援教育専攻	連携機関をつなぐ資料のあり方: 子どもへの適切な支援のために	平成23年5月31日	ねむの木療育園(松茂町) (依頼先: 育児ファイル・子どものポータルサイトをこころう会)
19	端村 達也	教員養成特別コース	第51回鳴門市小学校体操発表会	平成23年6月2日	鳴門アミノバリュールホール(鳴門市) (依頼先: 鳴門市小学校体操発表会)
20	村井 万里子	言語系コース(国語)	音読・暗誦の魅力	平成23年6月2日	八幡小学校(阿波市)
21	早藤 幸隆	自然系コース(理科)	身近な科学を探究する理科実験	平成23年6月5日	桑島小学校(鳴門市)
22	井上 とも子	特別支援教育専攻	高機能発達障害児の理解と対応	平成23年6月8日	平島こどもセンター(阿南市)
23	阪根 健二	学校・学級経営コース	安全管理の仕方について	平成23年6月9日	松茂町保健相談センター (依頼先: 板野郡児童館連絡協議会)
24	梅津 正美	社会系コース	社会的判断力を培う社会科歴史学習のあり方	平成23年6月9日	鳴門市第一中学校(鳴門市) (依頼先: 鳴門市中教研社会科部会)
25	福井 典代	生活・健康系コース(家庭)	被服分野の実験・実習に関する授業実践	平成23年6月10日	佐古小学校(徳島市)
26	梶井 一暁	人間形成コース	社会における自己の座標探し	平成23年6月10日	城ノ内高等学校(徳島市)
27	橋川 喜美代	幼年発達支援コース	保育を楽しくする保育計画・評価について考える	平成23年6月11日	みのり保育園(徳島市) (依頼先: 社会福祉法人みずほ会)
28	余郷 裕次	言語系コース(国語)	絵本の読み聞かせの教育的効果	平成23年6月14日	洪野小学校(徳島市)
29	梅津 正美	社会系コース	県中学校社会科教育研究大会に向けての指導助言	平成23年6月14日	徳島県立総合教育センター(板野町) (依頼先: 徳島県中学校教育研究会社会部会)
30	小坂 浩嗣	学校臨床実践コース	小規模校における人間関係の再構築についてポイント	平成23年6月16日	鷲敷中学校(那賀町)
31	秋田 美代	自然系コース(数学)	算数・算数的活動について	平成23年6月16日	八幡小学校(阿波市)
32	佐藤 公子	特別支援教育専攻	教育的ニーズに応じた児童支援について	平成23年6月17日	高原小学校(石井町)
33	武市 勝	芸術系コース(美術)	美術, 特に絵画に関してお手伝いできることがあれば	平成23年6月19日	徳島県立近代美術館(徳島市)
34	鈴木 久人	芸術系コース(美術)	美術, 特に絵画に関してお手伝いできることがあれば	平成23年6月19日	徳島県立近代美術館(徳島市)
35	村川 雅弘	授業実践・カリキュラム開発コース	生活科の時間の全般について	平成23年6月20日	助任小学校(徳島市)
36	山森 直人	言語系コース(英語)	聴くことを大切にしたい外国語活動の実践	平成23年6月21日	生比奈小学校(勝浦町)
37	久我 直人	学校・学級経営コース	学校力を高める学校評価のすすめ方	平成23年6月23日	徳島北高等学校(徳島市)
38	松岡 隆	自然系コース(数学)	幾何学の面白さを伝える題材の紹介	平成23年6月24日	城南高等学校(徳島市)
39	成川 公昭	自然系コース(数学)	自然界に現れる数学	平成23年6月24日	城南高等学校(徳島市)

	氏名	所属 (専攻・コース)	内容	派遣日	派遣先
40	末内 佳代	学校臨床実践コース	発達障害を持つ生徒の理解と対応について	平成23年6月24日	阿波西高等学校 (阿波市阿波町)
41	小倉 正義	臨床心理士養成コース	ストレスにどのように向き合うか?	平成23年6月24日	脇町高等学校 (美馬市脇町)
42	皆川 直凡	人間形成コース	児童期の心の発達と教育	平成23年6月25日	附属小学校 (徳島市)
43	西田 威汎	芸術系コース (美術)	美術, 特に絵画に関してお手伝いできることがあれば	平成23年6月26日	徳島県立近代美術館 (徳島市)
44	鈴木 久人	芸術系コース (美術)	美術, 特に絵画に関してお手伝いできることがあれば	平成23年6月26日	徳島県立近代美術館 (徳島市)
45	武田 清	自然系コース (理科)	県内高校生の化学学習支援	平成23年6月26日	徳島大学総合科学部 (徳島市) (依頼先: 徳島県教育委員会学校政策課)
46	早藤 幸隆	自然系コース (理科)	県内高校生の化学学習支援	平成23年6月26日	徳島大学総合科学部 (徳島市) (依頼先: 徳島県教育委員会学校政策課)
47	余郷 裕次	言語系コース (国語)	絵本の仕掛けとその読み聞かせの効果	平成23年6月27日	城西高等学校 (徳島市)
48	久我 直人	学校・学級経営コース	コンプライアンスとミドルリーダーの役割について	平成23年6月27日	沖洲小学校 (徳島市)
49	阿形 恒秀	学校臨床実践コース	子どもの依存と自立, おとなの優しさと厳しさ	平成23年6月28日	鷲敷中学校 (那賀町)
50	阪根 健二	学校・学級経営コース	学校の危機管理について	平成23年7月4日	城南高等学校 (徳島市)
51	井上 とも子	特別支援教育専攻	発達障害児の理解と学校における対応	平成23年7月4日	高志小学校 (上板町)
52	島田 恭仁	特別支援教育専攻	軽度発達障害の児童に対する学習面での支援	平成23年7月6日	丸亀市立城東小学校 (丸亀市)
53	井上 とも子	特別支援教育専攻	聾学校における「個別指導計画」の作成について	平成23年7月7日	聾学校 (徳島市)
54	山森 直人	言語系コース (英語)	小・中連携を考えた英語科授業のもちかたについて	平成23年7月7日	勝浦中学校 (勝浦町)
55	佐藤 公子	特別支援教育専攻	教育的ニーズに応じた児童支援について	平成23年7月12日	高原小学校 (石井町)
56	松井 敦典	生活・健康系コース (保健 体育)	みんなが泳ぎを楽しめる水泳の学習指導	平成23年7月12日	菅生小学校 (三好市)
57	梅津 正美	社会系コース	県中学校社会科教育研究大会に向けての指導助言	平成23年7月13日	池田中学校 (三好市) (依頼先: 徳島県中学校教育研究会社会部会)
58	木下 光二	教員養成特別コース	幼児教育の豊かさについて	平成23年7月13日	四箇地区公民館 (仲多度郡多度津町) (依頼先: (財)多度津町文化体育振興事業団)
59	佐藤 公子	特別支援教育専攻	教育的ニーズに応じた児童支援について	平成23年7月14日	鳴門東小学校 (鳴門市)
60	梶井 一暁	人間形成コース	歴史と比較からみる教育	平成23年7月15日	徳島市立高等学校 (徳島市)
61	幾田 伸司	言語系コース (国語)	美馬夏季国語教育研究授業のための事前授業 (公開授業) と授業研究会	平成23年7月15日	脇町小学校 (美馬市)
62	武市 勝	芸術系コース (美術)	美術, 特に絵画に関してお手伝いできることがあれば	平成23年7月17日	徳島県立近代美術館 (徳島市)
63	西田 威汎	芸術系コース (美術)	美術, 特に絵画に関してお手伝いできることがあれば	平成23年7月17日	徳島県立近代美術館 (徳島市)
64	伊藤 陽介	生活・健康系コース (技術・工業・情報)	情報に関する技術教育	平成23年7月18日	龍雲中学校 (高松市)
65	大谷 博俊	特別支援教育専攻	障害児理解と移行支援	平成23年7月20日	盲学校 (徳島市)
66	佐藤 公子	特別支援教育専攻	教育的ニーズに応じた児童支援について	平成23年7月21日	高原小学校 (石井町)
67	幾田 伸司	言語系コース (国語)	美馬夏季国語教育研究会における授業者の指導・助言と講演	平成23年7月21日	脇町小学校 (美馬市) (依頼先: 美馬郡市小教研国語部会)
68	ジェラード・マソソ	言語系コース (英語)	小学校英語教育のあり方	平成23年7月21日	香美市立香長小学校 (高知県)
69	西田 威汎	芸術系コース (美術)	美術, 特に絵画に関してお手伝いできることがあれば	平成23年7月24日	徳島県立近代美術館 (徳島市)
70	鈴木 久人	芸術系コース (美術)	美術, 特に絵画に関してお手伝いできることがあれば	平成23年7月24日	徳島県立近代美術館 (徳島市)
71	端村 達也	教員養成特別コース	体ほぐし運動やボール遊び運動	平成23年7月25日	鳴門西小学校 (鳴門市)
72	香西 武	自然系コース (理科)	地質に関するフィールドワーク	平成23年7月26日	海部郡海陽町穴喰浦古目 化石漣痕周辺 (依頼先: 富岡西高等学校)
73	田中 弘之	生活・健康系コース (保健 体育)	幼児期の体力について	平成23年7月26日	小松島市教育委員会 (小松島市) (依頼先: 小松島市幼稚園教育研究協議会)
74	中津 郁子	臨床心理士養成コース	幼児期の子育てについて	平成23年7月29日	新開幼稚園 (小松島市)
75	余郷 裕次	言語系コース (国語)	絵本の仕掛けとその読み聞かせの効果	平成23年7月29日	城北高等学校 (徳島市)
76	藤田 雅文	生活・健康系コース (保健 体育)	第57回徳島県小学校体育指導者講習会分科会指導助言者	平成23年7月29日	石井町中央公民館, 石井小学校 (石井町) (依頼先: 徳島県小学校教育研究会体育部会)
77	皆川 直凡	人間形成コース	児童期の心の発達と教育	平成23年7月30日	附属小学校 (徳島市)
78	佐藤 勝幸	自然系コース (理科)	原生生物, 微小な淡水の生物に関する事柄や活動について	平成23年8月2日	阿南市科学センター (阿南市) (依頼先: 阿南市中学校理科部会)

	氏名	所属 (専攻・コース)	内 容	派遣日	派遣先
79	小坂 浩嗣	学校臨床実践コース	児童生徒理解について	平成23年8月2日	浦庄小学校(石井町) (依頼先: 藍畑小学校)
80	梅津 正美	社会系コース	授業力向上をめざす教員研修の方法と展開	平成23年8月3日	洲本市立洲本第三小学校(洲本市)
81	頃安 利秀	芸術系コース(音楽)	自然で無理のない発声指導について	平成23年8月9日	富岡公民館(阿南市) (依頼先: 阿南市小学校音楽部会)
82	梅津 正美	社会系コース	未来に生きてはたらく力を育てる社会科学習	平成23年8月9日	板野町文化の館(板野町) (依頼先: 徳島県中学校教育研究会社会部会)
83	小坂 浩嗣	学校臨床実践コース	児童生徒理解と生徒指導体制の構築について	平成23年8月10日	上板町中央公民館(上板町) (依頼先: 神宅小学校)
84	田村 隆宏	幼年発達支援コース	保育の質の向上を目指してー保育環境を捉え直すー	平成23年8月10日	上板町中央公民館(上板町) (依頼先: 神宅小学校)
85	伊藤 陽介	生活・健康系コース(技術・工業・情報)	情報に関する技術教育	平成23年8月10日	龍雲中学校(高松市)
86	木原 資裕	生活・健康系コース(保健体育)	学校体育における武道(剣道)の指導のあり方について	平成23年8月11日	徳島市B&G海洋センター武道館(徳島市) (依頼先: 徳島市教育委員会)
87	頃安 利秀	芸術系コース(音楽)	授業の中で身につける発声法	平成23年8月11日	徳島県立総合教育センター(板野町) (依頼先: 徳島県中学校教育研究会音楽部会)
88	米澤 義彦	自然系コース(理科)	新学習指導要領をどう教えるか? ー新学習指導要領生物の課題についてー	平成23年8月19日	徳島文理大学(徳島市) (依頼先: 徳島県高等学校教育研究会理科学会)
89	藤村 裕一	現代教育課題総合コース	学校情報セキュリティ、ー現状と課題ー	平成23年8月22日	板野支援学校(板野町)
90	藤田 雅文	生活・健康系コース(保健体育)	第53回徳島県小学校体育科教育研究大会事前研究会指導助言	平成23年8月22日	高原小学校(石井町) (依頼先: 徳島県小学校教育研究会体育部会長)
91	島田 恭仁	特別支援教育専攻	軽度発達障害の児童に対する学習面での支援	平成23年8月22日	保健福祉センター「やすらぎ」(室戸市) (依頼先: 室戸市教育研究所)
92	久我 直人	学校・学級経営コース	学校力を高める学校評価と教員評価	平成23年8月23日	池田総合体育館(三好市) (依頼先: 三好郡小学校教育研究会会長)
93	村田 守	自然系コース(理科)	2020年の南海地震にそなえた減災・防災教育	平成23年8月23日	松茂町総合会館(松茂町) (依頼先: 板野郡町教育委員会連絡協議会)
94	山森 直人	言語系(英語)コース	阿波市英語教育夏研修会	平成23年8月23日	吉野コミュニティセンター(阿波市) (依頼先: 阿波市教育委員会)
95	幾田 伸司	言語系コース(国語)	国語科授業作りに関する相談・支援	平成23年8月23日	鳴門高等学校(鳴門市)
96	村田 守	自然系コース(理科)	2020年の南海地震にそなえた減災・防災教育について	平成23年8月24日	富岡幼稚園(阿南市) (依頼先: 阿南市幼稚園教育研究協議会)
97	小坂 浩嗣	学校臨床実践コース	豊かな人間性・社会性をはぐくむ生徒指導	平成23年8月24日	徳島県教育会館(徳島市) (依頼先: 徳島県小学校教育研究会生徒指導部会)
98	阿形 恒秀	学校臨床実践コース	豊かな人間性・社会性をはぐくむ生徒指導	平成23年8月24日	徳島県教育会館(徳島市) (依頼先: 徳島県小学校教育研究会生徒指導部会)
99	村井 万里子	言語系(国語)コース	子どもの作文をどう読むか	平成23年8月25日	福島小学校(徳島市)
100	大谷 博俊	特別支援教育専攻	障害児理解と移行支援	平成23年8月30日	徳島県立障害者交流プラザ(徳島市) (依頼先: 阿南支援学校)
101	佐藤 公子	特別支援教育専攻	教育的ニーズに応じた児童支援について	平成23年8月31日	高原小学校(石井町)
102	阪根 健二	学校・学級経営コース	コンプライアンス、学校危機管理に関する研修	平成23年9月8日	千松小学校(徳島市)
103	中津 郁子	臨床心理士養成コース	幼児期の子育てについて	平成23年9月16日	新開幼稚園(小松島市)
104	皆川 直凡	人間形成コース	児童期の心の発達と教育	平成23年9月17日	附属小学校(徳島市)
105	粟飯原 良造	臨床心理士養成コース	①じぶんいじめをやめる ②自分を大事にするコミュニケーション ③保護者とのコミュニケーション	平成23年9月22日	国府中学校(徳島市)
106	尾崎 士郎	生活・健康系コース(技術・工業・情報)	第12回全国中学生創造ものづくり教育フェア 木工チャレンジコンテスト徳島県競技会	平成23年9月24日	徳島県立総合教育センター(板野町) (依頼先: 徳島県中学校技術・家庭科研究会)
107	福井 典代	生活・健康系コース(家庭)	第12回全国中学生創造ものづくり教育フェア 徳島県予選二次審査および研修会	平成23年9月24日	徳島県立総合教育センター(板野町) (依頼先: 徳島県中学校技術・家庭科研究会)
108	余郷 裕次	言語系コース(国語)	絵本の仕掛けとその読み聞かせの効果	平成23年9月26日	川島高等学校(吉野川市)
109	井上 とも子	特別支援教育専攻	特別な教育的支援を要する子どもへの学校ぐるみの支援	平成23年9月28日	鳴門市第二中学校(鳴門市)
110	米澤 義彦	自然系コース(理科)	生物学の最近の知見	平成23年9月30日	海部高等学校(海部郡)
111	前田 英雄	生活・健康系コース(家庭)	味覚の不思議と科学(食物分野)	平成23年10月4日	洲本高等学校(洲本市)
112	末内 佳代	学校臨床実践コース	心と学習の支援教育	平成23年10月4日	洲本高等学校(洲本市)
113	速水 多佳子	生活・健康系コース(家庭)	マナーとコミュニケーション	平成23年10月4日	洲本高等学校(洲本市)
114	眞野 美穂	言語系コース(英語)	日本語と英語の共通点と相違点を考える	平成23年10月4日	洲本高等学校(洲本市)
115	小倉 正義	臨床心理士養成コース	認知的個性を生かした学習支援、ソーシャルスキルトレーニング	平成23年10月5日	森山小学校(吉野川市)

	氏名	所属 (専攻・コース)	内容	派遣日	派遣先
116	井上 とも子	特別支援教育専攻	岩脇小学校特別支援学級・通常学級の児童の特別な支援が必要な児童の支援について、担任・コーディネーター・管理職がスーパーバイズを受ける	平成23年10月12日	岩脇小学校（阿南市）
117	井上 とも子	特別支援教育専攻	発達障害児の理解と学校における対応	平成23年10月12日	阿南市教育会館（阿南市） （依頼先：橋幼稚園）
118	久我 直人	学校・学級経営コース	学校評価研修会	平成23年10月12日	阿波西高等学校（阿波町）
119	余郷 裕次	言語系コース（国語）	絵本の読み聞かせの教育的効果	平成23年10月13日	鷲敷小学校（那賀郡那賀町）
120	島田 恭仁	特別支援教育専攻	軽度発達障害の児童に対する学習面での支援	平成23年10月13日	室津小学校（淡路市）
121	梅津 正美	社会系コース	未来に生きてはたらく力を育てる社会科学習	平成23年10月18日	池田中学校（三好市） （依頼先：徳島県中学校教育研究会社会部会）
122	木下 光二	教員養成特別コース	幼児教育及び幼小連携について	平成23年10月20日	加茂谷幼稚園（阿南市）
123	小倉 正義	臨床心理士養成コース	ストレスにどのように向き合うか？	平成23年10月24日	池田高等学校（三好市）
124	末内 佳代	学校臨床実践コース	事例検討会	平成23年10月24日	脇町小学校（美馬市）
125	香西 武	自然系コース（理科）	徳島県中学校教育研究会理科部会美馬大会指導助言	平成23年10月25日	半田中学校（つるぎ町）
126	武田 清	自然系コース（理科）	徳島県中学校教育研究会理科部会美馬大会指導助言	平成23年10月25日	半田中学校（つるぎ町）
127	佐藤 勝幸	自然系コース（理科）	徳島県中学校教育研究会理科部会美馬大会指導助言	平成23年10月25日	半田中学校（つるぎ町）
128	梅津 正美	社会系コース	未来に生きてはたらく力を育てる社会科学習	平成23年10月25日	三加茂中学校（東みよし町）
129	末内 佳代	学校臨床実践コース	心と学習の支援教育	平成23年10月25日	徳島北高等学校（徳島市）
130	井上 とも子	特別支援教育専攻	特別な教育支援を必要とする子どもへの学校ぐるみの支援について	平成23年10月26日	川内北小学校（徳島市）
131	西村 公孝	授業実践・カリキュラム開発コース	大学模擬授業体験会	平成23年10月27日	阿波高等学校（阿波市）
132	大谷 博俊	特別支援教育専攻	障害児理解と移行支援	平成23年10月27日	県立障害者交流プラザ（徳島市） （依頼先：阿南支援学校）
133	余郷 裕次	言語系コース（国語）	絵本の読み聞かせの教育的効果	平成23年10月28日	北島北小学校（北島町）
134	皆川 直凡	人間形成コース	児童期の心の発達と教育	平成23年10月29日	附属小学校（徳島市）
135	阪根 健二	学校・学級経営コース	情報モラル教育－携帯電話・インターネット－	平成23年11月4日	桑島小学校（鳴門市）
136	久我 直人	学校・学級経営コース	学校組織マネジメントについて	平成23年11月4日	脇町中学校（美馬市脇町） （依頼先：木屋平中学校）
137	粟飯原 良造	臨床心理士養成コース	①自分いじめをやめる ②自分を大事にするコミュニケーション ③保護者とのコミュニケーション	平成23年11月7日	板野支援学校（板野町）
138	久我 直人	学校・学級経営コース	学級経営の実践と改善のポイント	平成23年11月7日	旭中学校（高知市）
139	田村 隆宏	幼年発達支援コース	幼児期のしつけについて	平成23年11月9日	牛島幼稚園（吉野川市）
140	小坂 浩嗣	学校臨床実践コース	児童生徒理解について、教育相談について	平成23年11月10日	富岡小学校（阿南市）
141	八幡 ゆかり	特別支援教育専攻	特別支援学級における総合的な学習の実践について	平成23年11月10日	助任小学校（徳島市）
142	余郷 裕次	言語系コース（国語）	豊かな心を育てる読書指導のあり方	平成23年11月11日	脇町中学校（美馬市脇町）
143	久我 直人	学校・学級経営コース	学校改善につながる学校評価と教員評価	平成23年11月11日	三加茂中学校（東みよし町） （依頼先：東みよし町教育会）
144	粟飯原 良造	臨床心理士養成コース	ハラスメントの理解とその発生予防について	平成23年11月14日	小松島市役所（小松島市）
145	藤原 伸彦	教員養成特別コース	iPadを利用した効果的な授業について	平成23年11月16日	上勝中学校（上勝町）
146	藤田 雅文	生活・健康系コース（保健体育）	第53回徳島県小学校体育科教育研究大会の指導助言	平成23年11月18日	高原小学校（石井町） （依頼先：徳島県小学校教育研究会体育部会）
147	秋田 美代	自然系コース（数学）	算数・数学学習に対する興味・関心を高める指導法	平成23年11月18日	津名中学校（淡路市）
148	村井 万里子	言語系コース（国語）	音読・暗唱の魅力	平成23年11月18日	小松島西高等学校（小松島市）
149	中津 郁子	臨床心理士養成コース	幼児期の子育てについて	平成23年11月18日	新開幼稚園（小松島市）
150	山森 直人	言語系コース（英語）	コミュニケーション能力が育つ外国語活動について	平成23年11月21日	香長小学校（高知県香美市）
151	山森 直人	言語系コース（英語）	英語教育・英語活動のカリキュラム、指導法、教材に関する相談、支援および共同開発	平成23年11月22日	生比奈小学校（勝浦町）
152	余郷 裕次	言語系コース（国語）	豊かな心を育てる読書指導のあり方	平成23年11月25日	脇町中学校（美馬市脇町）
153	田村 隆宏	幼年発達支援コース	幼児期のしつけについて	平成23年11月26日	つくし保育所（鳴門市）
154	余郷 裕次	言語系コース（国語）	絵本の仕掛けとその読み聞かせの効果	平成23年11月26日	ミリカホール（小松島市） （依頼先：小松島市児童福祉課）
155	皆川 直凡	人間形成コース	児童期の心の発達と教育	平成23年11月26日	附属小学校（徳島市）
156	小野瀬 雅人	授業実践・カリキュラム開発コース	学力向上のための授業改善	平成23年11月28日	洲本高等学校（洲本市）

	氏名	所属 (専攻・コース)	内 容	派遣日	派遣先
157	田中 弘之	生活・健康系コース（保健体育）	子どもたちの生活リズムを整えるための、子どもと保護者への啓発活動	平成23年11月28日	中野島小学校（阿南市）
158	前田 洋一	授業実践・カリキュラム開発コース	①教員評価について ②新学習指導要領について	平成23年11月28日	国府中学校（徳島市）
159	山森 直人	言語系コース（英語）	英語の使用法（Classroom English）に関する研修	平成23年11月29日	生比奈小学校（勝浦町）
160	小野瀬 雅人	授業実践・カリキュラム開発コース	学校における実証的研究の進め方とまとめ方	平成23年12月1日	市立川島中学校（吉野川市）
161	村川 雅弘	授業実践・カリキュラム開発コース	総合的な学習の実践について	平成23年12月1日	助任小学校（徳島市）
162	山森 直人	言語系コース（英語）	教室英語（Classroom English）の使用法に関する演習	平成23年12月1日	由岐小学校（海部郡）
163	梅津 正美	社会系コース	授業力向上をめざす教員研修の方法と展開	平成23年12月2日	飯山高等学校（丸亀市）
164	速水 多佳子	生活・健康系コース（家庭）	マナーとコミュニケーション	平成23年12月4日	市場中学校（阿波市）
165	兼松 儀郎	学校・学級経営コース	高等学校における道德教育の充実について	平成23年12月9日	海部高等学校（海部郡）
166	米澤 義彦	自然系コース（理科）	「放射線について正しく理解する」「簡易霧箱の製作とα線の観察」「放射線を正しく怖がる」	平成23年12月12日	鳴門教育大学自然棟 (依頼先：徳島県高等学校教育研究会理科学会)
167	粟田 高明	自然系コース（理解）	「放射線について正しく理解する」「簡易霧箱の製作とα線の観察」「放射線を正しく怖がる」	平成23年12月12日	鳴門教育大学自然棟 (依頼先：徳島県高等学校教育研究会理科学会)
168	井上 とも子	特別支援教育専攻	発達障害児の理解と学校における対応	平成23年12月14日	高知県教育センター（高知市）
169	大谷 博俊	特別支援教育専攻	障害児理解と移行支援	平成23年12月14日	障害者交流センター（徳島市） (依頼先：阿南支援学校)
170	阪根 健二	学校・学級経営コース	特別支援を要する生徒に対する生徒指導	平成23年12月15日	鳴門工業高校（鳴門市）
171	中津 郁子	臨床心理士養成コース	幼児期の子育てについて	平成23年12月16日	新開幼稚園（小松島市）
172	皆川 直凡	人間形成コース	児童期の心の発達と教育	平成23年12月17日	附属小学校（徳島市）
173	小倉 正義	臨床心理士養成コース	教職員のメンタルヘルス向上のためにどのようなことが必要か？	平成23年12月20日	鳴門第一高等学校（鳴門市）
174	佐藤 公子	特別支援教育専攻	教育的ニーズに応じた児童支援について	平成23年12月20日	高原小学校（石井町）
175	前田 洋一	授業実践・カリキュラム開発コース	元気のでる学校づくり	平成23年12月22日	盲学校（徳島市）
176	久我 直人	学校・学級経営コース	コンプライアンス（教職員の危機管理）	平成23年12月22日	明神小学校（鳴門市）
177	佐藤 公子	特別支援教育専攻	教育的ニーズに応じた児童支援について	平成23年12月27日	高原小学校（石井町）
178	伊藤 陽介	生活・健康系コース（技術・工業・情報）	情報に関する技術教育	平成23年12月28日	龍雲中学校（高松市）
179	村川 雅弘	授業実践・カリキュラム開発コース	生活科・総合的な学習の実践について	平成24年1月6日	助任小学校（徳島市）
180	阪根 健二	学校・学級経営コース	幼稚園における危機管理について	平成24年1月11日	徳島市考古資料館（徳島市） (依頼先：徳島市幼稚園長会)
181	中津 郁子	臨床心理士養成コース	入学・進級を間近にした家庭教育や子育ての在り方について	平成24年1月13日	撫養幼稚園（鳴門市）
182	佐藤 公子	特別支援教育専攻	教育的ニーズに応じた児童支援について	平成24年1月13日	高原小学校（石井町）
183	井上 とも子	特別支援教育専攻	特別な教育的支援を要する子どもへの学校ぐるみの支援	平成24年1月23日	坂野小学校（小松島市）
184	佐藤 公子	特別支援教育専攻	教育的ニーズに応じた児童支援について	平成24年1月23日	高原小学校（石井町）
185	八幡 ゆかり	特別支援教育専攻	特別支援学級における総合的な学習の実践について	平成24年1月24日	助任小学校（徳島市）
186	村川 雅弘	授業実践・カリキュラム開発コース	生活科の実践について	平成24年1月26日	助任小学校（徳島市）
187	八幡 ゆかり	特別支援教育専攻	特別支援教育コーディネーターの役割－自校の実践に活かすために－	平成24年1月26日	洲本市役所（洲本市） (依頼先：洲本市教育委員会)
188	小倉 正義	臨床心理士養成コース	発達障害児の理解と学校における対応	平成24年1月26日	高浦中学校（石井町）
189	山森 直人	言語系コース（英語）	外国語活動に関する校内研修	平成24年1月26日	加茂名小学校（徳島市）
190	木下 光二	教員養成特別コース	幼児教育および幼小連携について	平成24年1月27日	石井幼稚園（石井町）
191	皆川 直凡	人間形成コース	児童期の心の発達と教育	平成24年1月28日	附属小学校（徳島市）
192	阪根 健二	学校・学級経営コース	学校における危機管理	平成24年1月31日	八万中学校（徳島市）
193	葛上 秀文	教員養成特別コース	生徒指導体制を構築するために必要なこと	平成24年2月2日	神宅小学校（上板町）
194	栗飯原 良造	臨床心理士養成コース	保護者とのコミュニケーション	平成24年2月4日	ふれあいセンター立江（小松島市） (依頼先：小松島市児童福祉課)
195	田村 隆宏	幼年発達支援コース	「保育の質の向上を目指して」～保育環境を捉え直す～	平成24年2月7日	富岡公民館（阿南市） (依頼先：阿南市幼稚園教育協議会)

	氏名	所属 (専攻・コース)	内容	派遣日	派遣先
196	田村 隆宏	幼年発達支援コース	幼児期のしつけについて	平成24年2月10日	鴨島幼稚園 (吉野川市)
197	ジェラード・マージェ	言語系コース (英語)	小学校英語教育のあり方 (教員研修と授業づくり) 小学校英語教育のデモンストレーション	平成24年2月23日	平島小学校 (阿南市)
198	大谷 博俊	特別支援教育専攻	障害児理解と移行支援	平成24年3月15日	徳島県立障害者交流プラザ (徳島市) (依頼先: 阿南支援学校)
199	石村 雅雄	国際教育コース	これからの学校のあり方	平成24年3月16日	富岡西高等学校 (阿南市)
200	木下 光二	教員養成特別コース	これからの幼児教育・生活科教育について	平成24年3月16日	富岡西高等学校 (阿南市)

平成23年度 鳴門市生涯学習まちづくり出前講座実績表

	氏名	所属 (専攻・コース)	内容	派遣日	派遣先
1	石坂 広樹	国際教育コース	海外生活奮闘記	平成23年7月11日	瀬戸中学校
2	村田 守	自然系コース (理科)	国内・海外旅行がもっと楽しくなる地学の知識	平成23年7月15日	瀬戸中学校
3	木原 克司	社会系コース	古代の都の構造	平成23年8月1日	瀬戸町公民館
4	小倉 正義	臨床心理士養成コース	ストレスにどのように向き合うか?	平成23年9月12日	大鳴門架橋記念館エディ
5	宮下 晃一	生活・健康系コース (技術・工業・情報)	クリーンエネルギー自動車と私たちの暮らし	平成23年9月12日	大鳴門架橋記念館エディ
6	草下 實	芸術系コース (音楽)	地域の民話を題材にした影絵・切り絵と音楽	平成23年10月14日	優元快舎とこちゃんKU
7	栗田 高明	自然系コース (理科)	放射線について	平成23年11月11日	板東公民館
8	村田 守	自然系コース (理科)	地球の不思議, 何でも答えます。	平成23年11月16日	鳴門地域地場産業振興センター
9	小倉 正義	臨床心理士養成コース	ストレスにどのように向きあうか?	平成24年2月20日	水道会館

教育支援講師・アドバイザー等派遣事業実績

平成21年度	平成22年度	平成23年度
115件	159件	200件

平成 23 年度学生による授業評価

学生による授業評価の種類別有効回答数

	有効回答人数
教養基礎科目	998
教育実践コア科目	411
教職共通科目	3,847
専修専門科目	4,444
合 計	9,700

学生による授業評価の種類別実施授業科目数

	授業科目数
教養基礎科目	39
教育実践コア科目	43
教職共通科目	74
専修専門科目	246
合 計	402

授業科目名 教養基礎科目(前期・後期)
 評価実施日 平成 年 月 日
 担当教員名

回答者数 998 名

質問項目		評価選択人数						平均値
		5	4	3	2	1	N.A.	
1 授業概要について	目標・授業計画・内容は、明確に示されていた	493	370	116	16	3	0	4.3
	成績評価の方法は、明確に示されていた	477	354	141	19	4	3	4.3
2 授業の内容等について	授業内容は、授業概要に沿っていた	506	355	115	17	2	3	4.4
	授業内容は、教養や専門性を高めるものだった	487	342	134	26	5	4	4.3
	授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった	377	323	226	47	13	5	4.0
	授業内容は、興味・関心を引くものだった	443	339	152	40	19	5	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	授業によく出席した	635	230	102	22	7	2	4.5
	授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした	285	292	227	138	53	3	3.6
	授業中に積極的に取り組んだ	409	352	182	46	7	2	4.1
	教員の説明をよく聞いた	425	346	179	38	7	3	4.1
	分からないことや疑問に思ったことは調べた	307	269	266	118	35	3	3.7
	授業に関連した内容について友人や教員と話し合った	313	291	234	115	41	4	3.7
	学生の理解状況を確かめながら授業を行った	445	334	149	52	14	4	4.2
4 教員の授業の進め方について	熱心に指導した	571	289	107	21	6	4	4.4
	授業内容を分かりやすく説明した	473	319	154	32	15	5	4.2
	教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった	472	330	148	29	10	9	4.2
	教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった	470	334	152	28	7	7	4.2
	教員の声は、聞き取りやすかった	522	292	129	33	14	8	4.3
	授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった	475	323	150	33	8	9	4.2
	5 教育実践コア科目について(コア科目)	教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった						
	関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった							
	学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった							
	授業実践を観察する視点が示された授業内容であった							
	授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった							
	教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった							
6 授業に対する満足度	この授業は、自分自身にとって満足できるものであった	475	314	132	25	14	38	4.3

総合評価 4.2

授業科目名 教育実践コア科目(前期・後期)
 評価実施日 平成 年 月 日
 担当教員名

回答者数 411名

質問項目	評価選択人数					平均値 (科目別)		
	5	4	3	2	1			
1 授業概要について	目標・授業計画・内容は、明確に示されていた	228	150	26	5	2	0	4.5
	成績評価の方法は、明確に示されていた	174	152	67	16	2	0	4.2
2 授業の内容等について	授業内容は、授業概要に沿っていた	219	151	36	2	3	0	4.4
	授業内容は、教養や専門性を高めるものだった	262	107	37	2	3	0	4.5
	授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった	240	134	29	4	4	0	4.5
	授業内容は、興味・関心を引くものだった	241	123	32	11	3	1	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	授業によく出席した	265	103	37	5	1	0	4.5
	授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした	123	161	93	25	9	0	3.9
	授業中に積極的に取り組んだ	202	138	61	9	1	0	4.3
	教員の説明をよく聞いた	218	133	52	7	0	1	4.4
	分からないことや疑問に思ったことは調べた	127	147	101	34	2	0	3.9
	授業に関連した内容について友人や教員と話し合った	153	171	62	20	5	0	4.1
4 教員の授業の進め方について	学生の理解状況を確かめながら授業を行った	181	165	53	9	3	0	4.2
	熱心に指導した	243	132	27	7	2	0	4.5
	授業内容を分かりやすく説明した	210	146	44	9	2	0	4.3
	教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった	215	147	42	4	3	0	4.4
	教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった	214	134	53	5	3	2	4.3
	教員の声は、聞き取りやすかった	248	129	26	6	2	0	4.5
	授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった	225	138	35	9	2	2	4.4
	教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった	181	94	26	2	2	106	4.5
5 教育実践コア科目について(コア科目)	関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった	167	94	38	4	2	106	4.4
	学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった	157	95	44	4	4	107	4.3
	授業実践を観察する視点が示された授業内容であった	169	93	37	5	0	107	4.4
	授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった	166	91	41	7	0	106	4.4
	教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった	167	92	41	4	1	106	4.4
6 授業に対する満足度	この授業は、自分自身にとって満足できるものであった	221	145	31	4	5	5	4.4

総合評価 4.4

授業科目名 教職共通科目(前期・後期)
 評価実施日 平成 年 月 日
 担当教員名

回答者数 3847名

質問項目	評価選択人数					平均値 (科目別)		
	5	4	3	2	1			
1 授業概要について	目標・授業計画・内容は、明確に示されていた	1783	1528	447	62	26	1	4.3
	成績評価の方法は、明確に示されていた	1792	1384	536	97	36	2	4.2
2 授業の内容等について	授業内容は、授業概要に沿っていた	1873	1421	464	57	27	5	4.3
	授業内容は、教養や専門性を高めるものだった	1995	1251	466	86	48	1	4.3
	授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった	1906	1339	444	103	50	5	4.3
	授業内容は、興味・関心を引くものだった	1676	1263	612	192	97	7	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	授業によく出席した	2477	997	316	37	16	4	4.5
	授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした	1038	1274	1008	361	161	5	3.7
	授業中に積極的に取り組んだ	1395	1367	830	187	62	6	4.0
	教員の説明をよく聞いた	1487	1383	763	155	46	13	4.1
	分からないことや疑問に思ったことは調べた	1022	1168	1103	412	130	12	3.7
	授業に関連した内容について友人や教員と話し合った	1112	1195	1012	382	129	17	3.7
4 教員の授業の進め方について	学生の理解状況を確かめながら授業を行った	1353	1396	774	215	97	12	4.0
	熱心に指導した	1960	1185	494	128	66	14	4.3
	授業内容を分かりやすく説明した	1630	1338	629	162	73	15	4.1
	教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった	1650	1351	619	138	64	16	4.1
	教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった	1553	1278	630	130	68	15	4.1
	教員の声は、聞き取りやすかった	1922	1101	557	148	96	23	4.2
	授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった	1678	1282	654	133	65	35	4.1
	教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった							
5 教育実践コア科目について(コア科目)	関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった							
	学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった							
	授業実践を観察する視点が示された授業内容であった							
	授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった							
	教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった							
6 授業に対する満足度	この授業は、自分自身にとって満足できるものであった	1566	1359	589	149	79	106	4.1

総合評価 4.2

授業科目名
評価実施日
担当教員名

専修専門科目(前期・後期)
平成 年 月 日

回答者数 4444 名

質問項目		評価選択人数					N.A (科目別)	平均値
		5	4	3	2	1		
1 授業概要について	目標・授業計画・内容は、明確に示されていた	2409	1569	367	52	45	2	4.4
	成績評価の方法は、明確に示されていた	2296	1503	496	89	57	3	4.3
2 授業の内容等について	授業内容は、授業概要に沿っていた	2457	1511	389	42	37	8	4.4
	授業内容は、教養や専門性を高めるものだった	2757	1248	337	60	40	2	4.5
	授業内容は、教育に対する見方や考え方を学べるものだった	2071	1356	714	187	90	4	4.2
	授業内容は、興味・関心を引くものだった	2248	1389	548	163	88	8	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	授業によく出席した	3019	1015	330	57	22	1	4.6
	授業内容をよく理解するために予習や復習(または、準備やまとめ)をした	1385	1569	1025	330	131	4	3.8
	授業中に積極的に取り組んだ	1946	1572	721	164	38	3	4.2
	教員の説明をよく聞いた	2094	1540	633	132	33	6	4.2
	分からないことや疑問に思ったことは調べた	1337	1534	1090	359	113	11	3.8
	授業に関連した内容について友人や教員と話し合った	1522	1507	954	309	137	15	3.9
	学生の理解状況を確認しながら授業を行った	1982	1539	629	180	94	11	4.2
4 教員の授業の進め方について	熱心に指導した	2582	1267	426	105	52	12	4.4
	授業内容を分かりやすく説明した	2192	1406	605	147	75	19	4.2
	教科書や配布資料等の教材は、内容を理解する上で適切だった	2136	1403	606	118	58	22	4.3
	教育用機器や設備など教具の利用は、適切だった	1942	1291	567	138	57	22	4.2
	教員の声は、聞き取りやすかった	2510	1243	452	148	62	29	4.4
	授業の進む速さは、適切だった。または、与えられた課題のレベルや分量は適切だった	2129	1420	604	165	82	44	4.2
	教職への意欲が持てる課題を含んだ授業内容であった							
5 教育実践コア科目について(コア科目)	関連した授業で学んだことや体験をふまえ、各教科等における内容が理解できる授業であった							
	学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった							
	授業実践を観察する視点が示された授業内容であった							
	授業実践に必要な指導力について理解できる授業内容であった							
	教科の目標・内容・指導方法が深く結びつき、授業実践されていることが理解できる授業内容であった							
6 授業に対する満足度	この授業は、自分自身にとって満足できるものであった	2218	1407	481	121	79	138	4.3

総合評価 4.3

平成23年度FD（ファカルティ・ディベロップメント）推進事業

1. 目的

鳴門教育大学は、教育実践学を中核とした学部・修士による6年間を見通した教員養成を目指すとともに、学校教育や教科教育の課題を解明できる実践的能力を育成することを中期目標の一つとして掲げている。この目標を達成するための方策として、FD（ファカルティ・ディベロップメント）推進事業を計画的に実施することを中期計画の中に謳っている。

鳴門教育大学では、平成21年度から全学組織としてFD・SD委員会を設置し、FD事業をより一層推進することに努めており、平成23年度FD推進事業については、その下部組織である学部・大学院FD専門部会において、公開授業週間、特別公開授業、ワークショップ、講演会の4事業を実施することとした。本事業は、本学教員の授業実践能力の向上と、授業に対する学生の認識の深化を図ることを目指すものであり、具体的には以下の3点を目的としている。

- ① 教員養成大学である本学における、教育実践力を培うためのよりよい授業のあり方を共有する。
- ② 教員養成大学である本学における、FDの在り方を構築する。
- ③ 本学の学生の現状を踏まえた、授業改善のための課題を明確にする。

2. 推進事業の内容

(1) 公開授業週間

【目的】 公開授業週間においては、教員相互の授業参観を通して授業改善に取り組む意識を高めるとともに、具体的な授業事例をもとにして各教員の授業改善を図ることを目的とする。

【期間】 平成23年12月1日（木）～平成23年12月7日（水）
（参観申込期日：平成23年11月18日（金））

(2) 特別公開授業

【目的】 特別公開授業は、他教員の優れた授業実践を参観し、公開された授業に係る授業研究会を実施することを通して、教育実践力を培うためのよりよい授業のあり方を共有することを目的とする。

【対象者】 本学教員全員

【期 日】 平成23年11月24日（木）～平成23年12月7日（水）

【内 容】 次のとおり

コース	授業名	実施日の担当教員	授業日	曜日	時限	教室
人間形成	学校と人間形成	木内陽一	12月5日	月	3限	B206
幼年発達支援	養護原理	木村直子	12月7日	水	1限	A512
現代教育課題総合	総合演習	藤村裕一, 谷村千絵	12月2日	金	5限	B101
臨床心理士養成	表現コミュニケーション基礎演習	今田雄三	12月2日	金	3限	B102
特別支援教育	特別支援教育実習	高原光恵, 津田芳見, 佐藤公子	12月1日	木	4限	B105
言語系（国語）	中等国語科授業論	幾田伸司	12月1日	木	3限	B304
言語系（英語）	英米文学研究Ⅱ	前田一平	11月24日	木	4限	B305
社会系	考古学	木原克司	12月1日	木	5限	A320
自然系（数学）	解析学Ⅰ	成川公昭	12月1日	木	3限	B202
自然系（理科）	初等中等教科教育実践Ⅱ	粟田高明	11月29日	火	1限	C613
芸術系（音楽）	初等音楽Ⅱ	頃安利秀	12月5日	月	2限	D401
芸術系（美術）	構成・デザインⅡ	松島正矩	12月1日	木	4限	マルチメディア教育演習室
生活・健康系（保健体育）	健康・スポーツ科学Ⅰ	藤田雅文	11月25日	金	2限	体育館
生活・健康系（技術・工業・情報）	設計製図	畑中伸夫	12月2日	金	3限	C106
生活・健康系（家庭）	食物学実験	前田英雄	12月1日	木	5限	C213
国際教育	国際教育現地理解演習Ⅱ	近森憲助, 石村雅雄, 石坂広樹, 小澤大成	12月5日	月	3限	C105

(3) 特別公開授業に係る授業研究会・FDワークショップ

【目的】 FDワークショップは、教員養成におけるFDの特性と意義に関する認識を深め、本学におけるFDの在り方を構築することを目的とする。今年度のFDワークショップは特別公開授業の授業研究会と連動し、具体的な授業を素材として教育実践力を培う授業のあり方を検討する。

【対象者】 本学教員全員

【期 日】 平成23年11月24日(木)～平成23年12月7日(水)

【テーマ】 『よい教師を育てる授業とは』
○学生の自主性を育む授業とは
○学生の思考を促す授業とは

【内 容】 次のとおり

コース	司会	実施日	曜日	時限	教室
人間形成	梶井一暁	12月5日	月	3限	B206
幼年発達支援	塩路晶子	12月7日	水	3限	A512
現代教育課題総合	太田直也	12月7日	水	2限	A218
臨床心理士養成	今田雄三	12月2日	金	4限	地域連携センター 会議室
特別支援教育	高原光恵	12月1日	木	14:00～14:30, 16:20～16:50	A519
言語系(国語)	野口哲也	12月5日	月	5限	国語科ゼミナール室
言語系(英語)	藪下克彦	11月24日	木	5限	A318
社会系	井上奈穂	12月1日	木	6限	A215
自然系(数学)	坂井武司	12月1日	木	4限	C716 数学ゼミナール室
自然系(理科)	佐藤勝幸	11月29日	火	3限	C613
芸術系(音楽)	山田啓明	12月5日	月	3限	芸術棟3階会議室
芸術系(美術)	西田威汎	12月1日	木	5限	B308
生活・健康系 (保健体育)	乾 信之	11月25日	金	3限	E301 教員合同研究室
生活・健康系 (技術・工業・情報)	宮本賢治	12月2日	金	4限	C106
生活・健康系 (家庭)	西川和孝	12月2日	金	1限	C204
国際教育	石村雅雄	12月5日	月	4限	C105

(4) FD講演会・シンポジウム

【目的】 本学では、平成13年度以来継続的にFD推進事業を実施してきており、よりよい授業内容・方法についての検討を重ね、外部からも高い評価を得ている。これまでの経験・蓄積をふまえ、いかに授業改善を進めていくべきかについて、初年次教育、キャリア教育、学士教育全般について、幅広く問題提起をされている関西国際大学の濱名篤学長をお迎えし、授業改善の今後を考える意見交流の場とすることを目的とする。

【対象者】 本学全教員

【日 時】 平成23年12月7日(水) 13時30分～17時00分

【会 場】 B101講義室(講義棟1階)

【内 容】 ○講演会 演題『学習成果と教学マネジメント』
講演者 関西国際大学 濱名 篤 学長

○シンポジウム テーマ『学生の姿から考える授業改善』

報告1 「鳴門教育大学におけるFD推進事業の実際と課題」
言語系コース(国語) 幾田伸司 准教授

報告2 「2010年度卒業生アンケートにみる学生の学習意識」
社会系コース 町田 哲 准教授

報告3 「授業実践力の育成に着目した初年次教育の試みー音楽科教育実践のエッセンスの検討ー」
芸術系コース(音楽) 長島真人 教授